

親を頼れない若者に、奨学金を届けたい。



緊急キャンペーン

締切：2014年1月31日

18歳

学費も生活費も、全てひとりで工面しなければならない。

児童養護施設からの大学等への進学。わずか20%。

知られていない希望格差。

Canayell.com/lp



カナエールは児童養護施設を退所した若者たちが進学・卒業して夢をかなえるために、「資金」と「意欲」の両面から、社会全体で支える奨学金支援プログラムです。

希望格差に苦しむ子どもたち

児童養護施設では、親を頼れない子どもたちが全国で3万人生活しています。彼らは、18歳で高校卒業すると同時に、児童養護施設を出て、自分の力で生活しなければなりません。立ち足る厳しい現実を前に、自分の将来に希望をもてずにいる子どもたちが少なくありません。

進学率 **20%** (※全国平均 70%)

親元で育つ多くの子どもたちは、家族から経済的な援助を受けながら学生生活を送りますが、施設を退所した若者たちにはそれがありません。大学や専門学校に進学する場合、学費や家賃を含む生活費すべてを自分で用意しなければなりません。

中退率 **30%** (※全国平均の 3 倍)

生活のためにアルバイトをしながら通学するのは簡単なことではありません。生活を切りつめ、睡眠や友達との時間を削って働くうちに、身体的・精神的に疲弊して、中退せざるを得なくなる若者たちが大勢います。



「資金」に関するサポート

一時金 30万円の給付

入学金や新生活の準備に充てられます。

卒業までの奨学金(毎月3万円)の給付

3万円は、アルバイトに追われがちな奨学生たちへの時間のプレゼント。「時間のゆとり」は「心のゆとり」につながります。

「意欲」に関するサポート

スピーチコンテスト

毎年夏に、奨学生たちが自らの夢を語る「夢スピーチコンテスト」が開催されます。夢の原点や抱えている思いを掘り下げた原稿づくりを、3人のボランティアチームがサポートします。

継続的なサポート

奨学生たちは毎月ブログで近況などを報告します。独自の交流 SNS、報告会を通じ、奨学生を卒業まで見守るしくみがあります。

親を頼れない若者に奨学金を届けたい。1月末までのチャレンジ

継続サポーター100口アップキャンペーン

実は、2013年度のカナエールは、資金を十分集められず、400万円の赤字でした。

やむなく、2014年度の募集を2名減らす決断をいたしました。ですが、最後の悪あがき。

一旦、募集人数は8名で案内していますが、書類、面接選考の結果を出すのは2月初旬です。

もし、1月末までに継続サポートを100口増やすことができれば…。奨学生を10名に戻す見通しが立てられます。

どうか、ご協力をお願いいたします。

カナエール実行委員長 林恵子

